

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第078号(通算)

令和4年11月18日(金)発行

もう11月も後半となり、二十四節気では、11月22日から12月6日までを小雪(しよせつ)といい、この時期から徐々に寒くなり、雪が降り始めるころと言われています。冬を感じるような肌寒い日が多くなりますが、この時期の昼間、春を思わせるような温かい日を「小春日和」と言います。しかし、朝夕の寒暖の差が大きいので、防寒対策が欠かせなくなります。さらに、寒さに加えて乾燥しやすく、インフルエンザなどにも感染しやすくなるので、しっかりとした乾燥対策にも心掛けましょう。

なぎなた新人戦

令和4年11月6日(日)



この日、なぎなた競技の新人戦が県総合体育館で行われました。部員6名は、高校生になってからなぎなたを始めたわけですが、頑張った結果、来年3月に兵庫県で行われる全日本高等学校なぎなた競技選抜大会に出場する権利を獲得しました。春の全国大会に向けて更なる鍛錬に努めて先輩たちが築いた結果を乗り越えようと挑戦して欲しいです。



個人決勝戦

突然QUIZ(クイズ)第七弾



学校創立122年目を迎える本校ですが、昭和23年から51年までは全日制の普通科と家政科が併設されていました。一時期は、定時制の農業科や家庭科、別科の建築科もありました。写真上部の建物は、礼法室ですが、その近くに『学校家庭クラブ記念碑』(鹿児島県発祥の地)という碑がひっそりと立っています。

さて問題です。現在の礼法室ですが、昭和30年代は、この地に何が建っていたでしょうか？ 次の3つの中から選んで下さい。

- ① プール
- ② 調理室と被服室
- ③ 女子研修室(学生寮)

※校内のイチョウの木も少しずつ黄色くなってきていますね。落ち葉が黄色い絨毯のように敷き詰められるのが待ち遠しいです。(庭掃除が大変ですけどね)

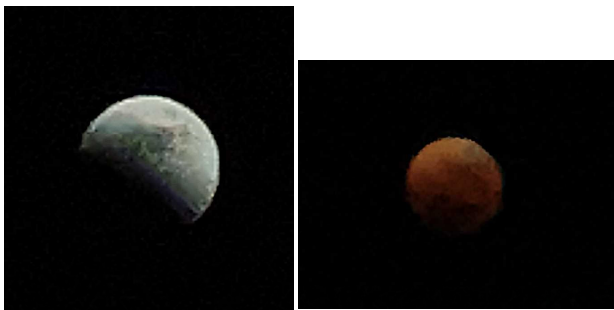


皆既月食

令和4年11月8日(火)

この日、日本全国で皆既月食が観測されました。夕方(18:09から)の下校時には、一部欠けた月が東の空に昇り始めており、正門付近では多くの生徒諸君が月を眺めたり、スマートフォンで写真を撮っていました。

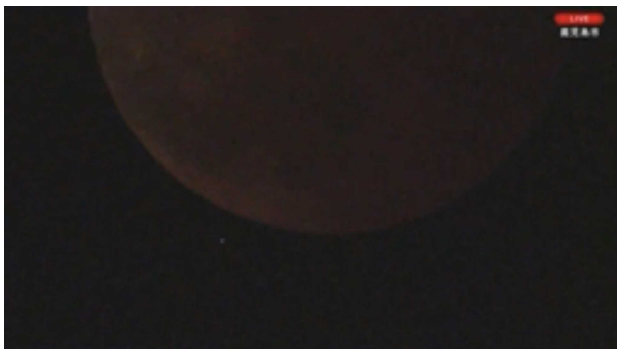
今回は、天王星食(月が惑星を隠す現象)も起こり、皆既月食と惑星食が同時に起こるのは、なんと442年ぶり(1580年7月26日、織田信長が活躍した時代)の天体ショーとなります。次に食が同時に起こる天体現象は322年後(2235年)になるそうです。一生に一回出会えるかどうかの天体現象に巡り会えました。また、皆既月食だけが日本で観測できるのは、3年後の2025年9月8日となります。



校長撮影の月(手ブレでこれが限界)



ウェザーニュースのサイトでは、富士山頂からの月食の様子がライブ配信されていました。



MBCテレビでも月食の様子と天王星食の様子が拡大画像でライブ中継されていました。天王星は、この後月の裏側に入ります。この写真でも小さすぎてよく分かりません。

郷土学習・大学訪問

令和4年11月9日(水)

1年生が郷土学習として鶴丸城跡に復元された御楼門と維新ふるさと館を見学し、鹿児島大学を見学しました。



鹿児島大学では、卒業生の上野心凜さんと宇都倅平さんと田代帆夏さんの3名(いずれも大学1年生)が大学での学生生活等について話をしてくれました。

校内ギャラリー紹介

11月になり、玄関ギャラリーの書道作品が新しくなりました。華やかな作品が楽しい気持ちにさせてくれます。



左から順番に橋元佑月さん、田畑友理香さん、辰野ルナさんの作品です。